

## 取扱いの趣旨

狭帯域光観察は病変部の悪性腫瘍の鑑別を目的に行う検査であることから、悪性腫瘍の鑑別を必要としない傷病名に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年12月27日》

405 狭帯域光強調加算（胃静脈瘤等）の算定について

### ○ 取扱い

次の傷病名に対する狭帯域光強調加算の算定は、原則として認められない。

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| (1) 胃静脈瘤、食道静脈瘤 | (2) 逆流性食道炎 | (3) 慢性胃炎 |
| (4) 胃炎         | (5) 十二指腸潰瘍 |          |

### ○ 取扱いを作成した根拠等

狭帯域光観察（NBI）は狭帯化された2つの波長の光を照射し、粘膜表層の微細血管、微細構造を強調表示し、拡大内視鏡を用いて、病変部の悪性腫瘍の鑑別を目的に行う検査である。

本加算は、上記を目的に検査を実施した場合にのみ算定できる。

以上のことから、上記(1)から(5)の傷病名に対する狭帯域光強調加算の算定は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

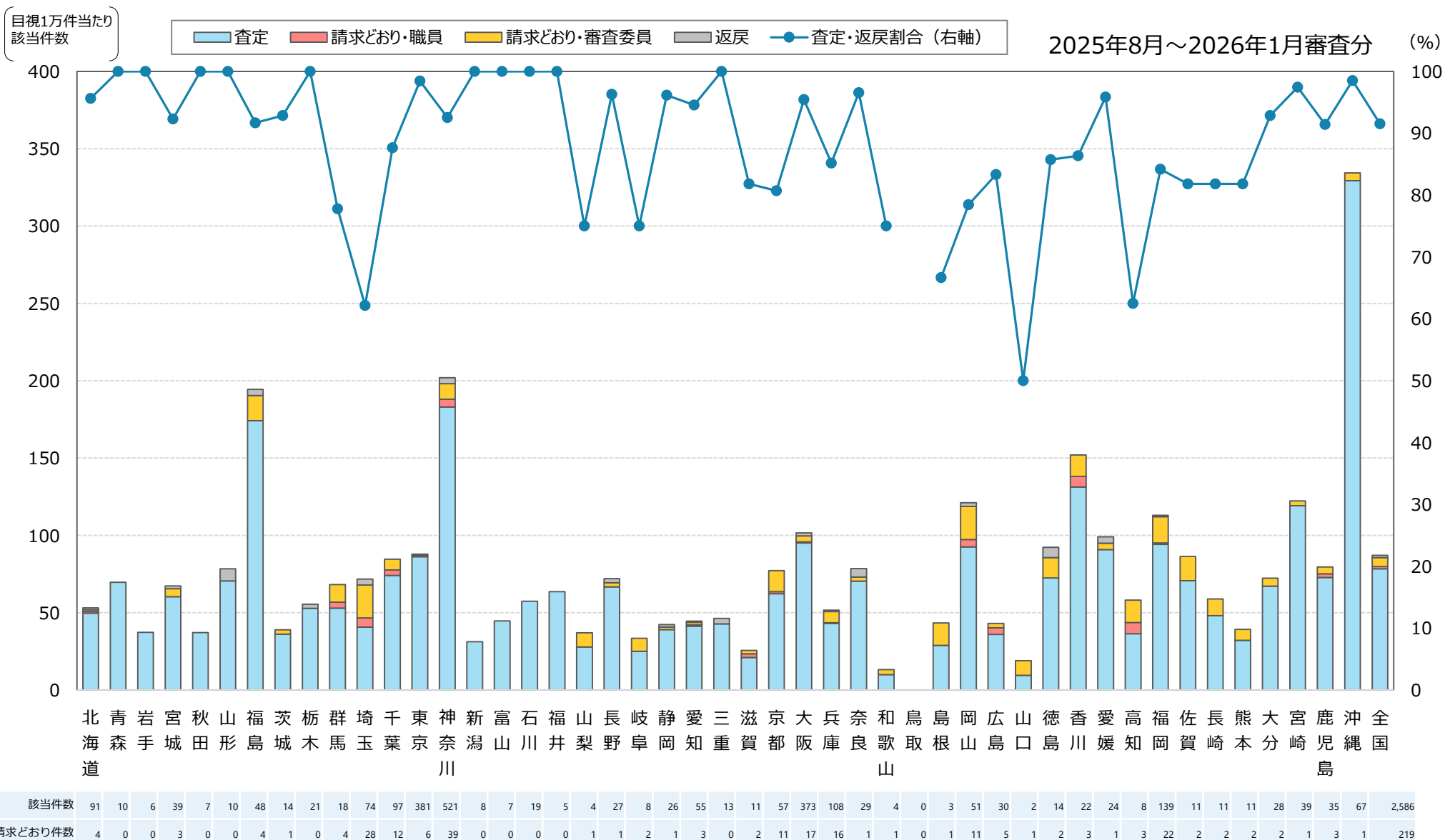
➤ 全国の査定・返戻割合 91.53%

➤ 検証対象都道府県 17

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	埼玉、高知、島根、山梨、群馬、岡山、京都、滋賀、佐賀、長崎、熊本、広島、福岡、兵庫、徳島、香川	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	高知、香川、埼玉、岡山、広島、群馬、千葉、滋賀、京都、福岡、兵庫	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岡山、埼玉、福岡、佐賀、高知、島根、香川、京都、徳島、群馬、長崎、山梨、兵庫、熊本、千葉、広島	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,586件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,367件
検証を必要とする審査	請求どおり	219件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数